

【様式】

平成28年度 学校マネジメントシート

学校名（桑名高等学校）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>普通科、理数科、衛生看護科、衛生看護専攻科および定時制課程を設置する本校の特色を生かし、「桑名から強くはばたくひとづくり」を目指します。</p> <p>そのために</p> <p>① 地域社会や保護者の多様なニーズに応じて、桑員を支える学校の責務を果たします。</p> <p>② 課程、学科の特色を生かして、多様で魅力ある学校をつくります。</p> <p>③ 長い伝統を強みとして、公教育への信頼を一層向上させます。</p>
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>★桑名から</p> <p>① 桑員地域の中学生が最も憧れる高校</p> <p>★強くはばたく</p> <p>② 生徒が充実した学力や技能を獲得し、学ぶ意欲にあふれている状態</p> <p>③ 生徒が部活動などの自主的な活動を通じてリーダーシップと協調性を兼ね備えている状態</p>
	ありたい 教職員像	<p>★人づくり</p> <p>④ 生徒の思考力・発信力を高め、豊かな人間性を育む教育実践を行っている状態</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>○生徒 学力・クラブ活動・楽しい学校・進路実現</p> <p>○保護者 社会性・安心安全・学力・クラブ活動・進路実現・社会的自立・楽しめる学校・一人ひとりを大切にする学校</p> <p>○地域社会 地域の誇りとなる、そしてリーダーシップや協調性を持つ人材育成や社会貢献</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>○大学 知的好奇心やコミュニケーション能力高い生徒育成</p> <p>○中学校 桑高の特色明確化、中学校への情報提供</p> <p>○教育産業 桑高のニーズは何か？</p> <p>○保護者 学校の現状・方針等の情報提供と参画の機会</p> <p>○地域社会 地域活動への参加</p> <p>○病院等 地域医療へ関心</p>	<p>○大学 高大連携による情報提供</p> <p>○中学校 中高連携による意思疎通</p> <p>○教育産業 桑高のニーズに合った情報提供</p> <p>○保護者 学校と連携した家庭教育</p> <p>○地域社会 地域の教育力の活用</p> <p>○病院等 学校との密接な連携</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>・なぜ学ぶのか、という問いかけに対する答えを教員は自分自身の中でしっかり持ち、この根本的なところを意識して取り組んでいただきたい。</p> <p>・目に見える形で生徒たちにキャリアビジョンを描かせることが大切である。</p> <p>・生徒の目標の高さに感心するとともに、勉強以外でも頑張っている生徒がいることが理解できた。</p> <p>・いつまでもこの学校を卒業してよかったと、大人になって思えるような学校にしてみたい。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・入学した生徒の満足度は高いが、他校に流れている状態 ・良好な学習成果を得ているが、自立した学習姿勢が欠けている ・活動加入率は80%を超えているが、生徒の自主的な活動では停滞傾向にある ・生徒の思考力・発信力を効果的に育てるような新たな教育実践を生み出す余裕がない
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる力のベースとなる「何のために学ぶのか」ということを基本に据え、授業改善の取組を進め、組織的に授業力の向上に取り組んでいく。 ・キャリア教育の体系的な指導計画を構築する。 ・校内のICT化を推進していく。 ・地域との連携をなお一層強化し、情報の共有化を推進する。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上と確かな学力の習得をはかるため、教科指導の充実と授業改善を進めます。 ・入学から卒業までを見通した進路指導により、生徒の進路希望の実現を図るとともに、勤労観や職業観を身につけるキャリア教育を体系的に推進します。 ・生徒指導、人権教育、安全教育、政治的教養を育む教育の充実に努め、生徒の豊かな人格形成に取り組みます。 ・選択教室や各HRへのICT機器の充実をはかります。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境を作るため、あらゆる教育活動の精選に努め、職員との対話を充実します。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
重点① 学習指導	<p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会の変化に対応した教育活動に取り組めます。」 <p>◎キャリア教育の視点を取り入れた「総合的な学習の時間」の計画を考えることで、生徒間の対話を深め、気づきの取得を促進する。加えて、生徒の持つ思考力・発信力をより高め、協調性とリーダーシップを兼ね備えた状態を目指す。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生：学部・学科研究を利用した自主活動 2年生：修学旅行での班別行動をつかった自主活動 3年生：校外研修会を使った自主活動 <p>対話と気づきが大切であることを訴える講演会の実施</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」を振り返った生徒アンケートの中で、「この授業を通じて自身の成長が図られましたか」の項目で「は 	(年度末および適宜記載)	◎

<p>い」を選択する生徒の割合75%以上</p> <p><1学年></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談、学年集会、学年通信、学習計画プリント等によって、規則正しい学習習慣の確立、タイムマネジメント感覚の育成を図ります。そうすることによって、生徒に家庭学習時間を確保させると共に、自分自身の毎日の生活の振り返りをさせます。また、担任間の意思疎通をいつも心がけ、学習指導・生徒指導・進路指導に生かします。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期の学習状況調査で、平日2時間以上、休日4時間以上学習している生徒が、全体の50%以上になることを目指します。 <p><2学年></p> <p>◎①学習指導</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが自分の将来の目標に向かって主体的に学習に取り組み、中心学年として誇りを持った学校生活を送れるような態度を育成します。個人面談、学年集会、学年通信を通して、校内での様々な活動に携わるように、また同時に自分の目標に向かって絶え間なく努力するように、訴えていきます。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期の学習状況調査で、平日3時間以上、休日5時間以上学習している生徒が、全体の50%以上になることを目指します。 <p><3学年></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終学年として、生徒の卒業後の進路保障を目指し、節目ごとの学年集会、個人面談の実施、学年通信の発行に取り組みます。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多くが志望している国公立大学の合格者が、普通科・理数科の卒業生数の4割以上の達成を目指します。 <p>◎授業や校内外の研修を通して自然科学や技術開発への関心を高め、将来的に地域社会のリーダーになれる資質を身につけさせる。</p> <p><理数科></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な教科指導や課題研究活動、校内外の研修活動などへの取り組みを通して、理系キャリア教育の充実を図ります。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や校内外の研修における理数科生徒の満足度の「やや満足」以上が80%になることを目指します。 	<p>※</p> <p>◎</p> <p>◎</p>	
--	----------------------------	--

<p>重点③ 人権教育・ 生活指導</p>	<p><看護科>学習指導</p> <p>◎看護師国家試験全員合格を目標とし、思考力や判断力を養う。 免許取得時に求められる実践能力を養うために、自主的、主体的な学習習慣を確立する。</p> <p>【活動指標】</p> <p>※日常から思考や判断プロセスを問うような学習課題を提示し、単純想起型の知識から、自らの思考の基で判断する機会を各科目から体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業教育における事業、臨地実習施設行事、看護協会等の行事等、積極的に参加し、現場体験に基づく気づき等を大切にする。 ・専門領域の充実と、職業観育成のために外部講師を招いてキャリア教育の充実を図る。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の充実を図り、必ず科学的な根拠づけ、倫理的配慮に基づいた内容であるかを評価する。 ・全員、期日までに課題提出ができるようにする。 ・行事の参加後は必ず振り返りシートを記入し、体験を基に今後の考察も記入できるようにする。 	<p>◎</p> <p>※</p>
	<p><定時制>学習指導</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年において国語・数学・英語の3教科で習熟度に応じた特別授業を実施し、基礎学力の定着と向上を図り、外国籍の生徒についても日本語指導を踏まえ取り組みます。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒満足度80%を目指します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の「生きる力」醸成のために防災・環境・安全・健康・人権等に関する総合学習を年間35時間以上実施します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒満足度について4段階でA、B合わせて90%以上を目指します。 <p><総務部></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権便りを年5回以上発行し、生徒の日常に生じる内容を取り上げ、人権推進教育を身近に感じられるように促します。 ・人権講演会を実施し、生命・人権を尊重する心、他人を思いやる心、共に生きる豊かな心を育みます。 <p>◎人権ロングホームルームを実施し、生徒が主体的に話し、相手を受容することができるよう指導します。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会・人権ロングホームルーム後の感想・アンケート 	<p>◎</p>

において、肯定的な意見・感想などが8割を超えることを目指します。

<生徒指導部>

◎心身の成長期にふさわしい基本的生活習慣の確立を目指し、自主・自律した生活が送れるように指導を行います。

【活動指標】

・平常授業時には毎朝10分間校門（北門）にて遅刻指導・服装指導を行い、基本的生活習慣の確立を身に付けさせます。また、主に定期考査期間時に通学路にて登校指導を行い交通事故防止や交通ルールを厳守するよう指導をおこないます。また校内ではあいさつの励行、身だしなみを整える「Formal Week」を月に1週間実施し、品格を備えた桑高生を育みます。そして年3回全職員体制で頭髪服装指導を実施し身だしなみを整える指導を行います。

【成果指標】

・身だしなみを整えさせる取組の中でも特に女子生徒のスカート丈において適正な長さでの着用を定着させることに重点課題に置き、年3回の服装指導時においてスカート丈が適正な状態で着用できている生徒数が女子全体の98%以上になることを目標とします。

<進路指導部>

・キャリアデザインに基づいたコース選択や志望校の決定をし、第1志望校の合格を実現します。

【活動指標】

・校内大学説明会の充実を図ります。

キャリア教育の視点からの進路指導を行います。

校内大学説明会の充実や1年の文理選択と2年の科目登録前にキャリア講演会を開くなど、生徒の進路選択をするうえで有効な材料を提供します。難関大の中でも希望者が多い名古屋大学への進学対策講座「名大チャレンジサポート」を実施します。

【成果指標】

・説明会、進路講演会の事後アンケート結果において全項目3点以上（4点満点）国公立大学現役合格者数が、普通科・理数科卒業生数の4割以上

名古屋大学現役合格者数が15名以上

難関国立10大学と医学部の現役合格数が20名以上。

3学年4月の調査における第1志望校に現役で合格した生徒が普通科・理数科卒業生数の2割以上

重点②
進路指導

◎

<p>重点④ ICT 機器の 充実</p>	<p><定時制 (進路指導)></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じた進路指導を実施し、労働に対する意欲を持たせるとともに、主体的に進路を選択できる力を身に付させます。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の有職率80%を目指します。 <p>・各教科で、ICT 機器の充実について検討していきます。</p>		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>重点⑤ 学校運営</p>	<p><総務部></p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※企画委員会を通して分掌間の連携を図ります。 ・同僚と相談しながら仕事を進めていける職場づくりに取り組みます。 ・デスクネッツ(電子掲示板)を有効に利用し会議時間の短縮に取り組みます。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎職員満足度調査の人間関係の項目 ・「職員間の対話は活発に行われていますか。」 ・「同僚と相談しながら仕事を進めていく体制はできていますか。」 <p>以上の数値3.0以上を目指します。</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>※</p> <p>◎</p>

	<p><AKP></p> <p>(「明るい桑名高校プロジェクト」(AKP)委員会より)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間のコミュニケーションをより活発にすることで、目指す学校像実現に向けたアイデアを出し合い、仕事を楽しく感じられる職員連携を構築し、多忙感の解消を目指します。 <p>【成果指標】</p> <p>※職員満足度調査の重点項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自由に意見を言えるような雰囲気はありますか。」 <p>以上の数値 3.0 以上を目指します。</p> <p>【活動指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教科指導の向上につながるような企画・研修を行います。 ② 多くの職員が参加する『望年会』(忘年会)を作り上げます。 ③多忙感や負担感を解消し、コミュニケーションを活発にするような企画を行います。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に行う、職員満足度調査において、平均数値が 2.7 以上になることを目指す。 		<p>※</p> <p>◎</p>
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<p>(年度末に記載)</p>
----------------------------	-----------------

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<p>(年度末に記載)</p>
<p>学校運営についての改善策</p>	<p>(年度末に記載)</p>